

Bishu Material Exhibition

【最終報告】

会期 2 日間で 966 名が来場、うちオンライン展示会の来場者が 98 名 1 社平均 527 点のサンプルリクエスト

シーズン	2024/25 秋冬
会 期	令和 5 年 9 月 27 日（水）9:30-18:00、28 日（木）9:30-17:00
会 場	WITH HARAJUKU HALL（リアル展示） 一宮地場産業ファッションデザインセンターWEB サイト（オンライン展示）

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、「FDC」）は、9 月 27 日・28 日の 2 日間、「2024/25 Autumn & Winter Bishu Material Exhibition（以下、「BME」）」を東京都渋谷区神宮前の WITH HARAJUKU HALL で開催した。26 回目となる今回の BME には尾州産地のテキスタイルメーカー 12 社が参加し、約 1,020 点の新作と FDC が提携しているパリのネリーロディ社のトレンド情報を基に製作した開発素材約 150 点を展示して商談を進めた。また、前回（4 月）の BME に続き、来場できない層をターゲットとした「Bishu Material Exhibition Online」を同時開催した。

今回も引き続き会場をファッションの街である原宿で行った。

その結果、リアル展示会の来場者は、コロナ禍の令和 4 年の秋冬展と比較して約 41.8%増の 868 名（オンライン展示会を含めた来場者は約 33.6%増の 966 名）となった。また、出展企業 12 社の合計サンプルリクエスト点数は延べ 6,328 点で、社数では延べ 968 社となった。会場内では、コロナ禍の時には見られなかった、複数人での来場者が多く見受けられた。出展者からは、「コロナが明け、久しぶりに来場したお客様と対面で商談が出来て良かった」との声が聞かれた。生地傾向としては、表情があるものや質感の良いもの、ナチュラル系やパステルカラーの明るい色目のもの、ウールと他の素材を掛け合わせた素材や起毛素材、ジャガードの人气が高かった。来場者からは「統一感があって良かった」と好評だった。

今回新たな取り組みとして株式会社 代表取締役 宮浦晋哉氏を講師に招き、今後活躍が期待される若手デザイナーを対象に尾州産地に関する講習会を 2 日間開催し、17 人の参加があった。講習会受講後、尾州生地の魅力を体感してもらうため、展示会場に移動し直接生地に触れる機会を設けた。受講者からは「尾州産地に興味はありましたが、なかなか接点を持てなかったが、今回講習に参加して尾州産地のテキスタイルメーカーとの接点を持てて良かった。」「まだまだ知らない尾州産地のテキスタイルメーカーがあることを改めて知る良い機会になった。」「講習で尾州生地の特性の説明を聞いた後に、展示会で尾州生地を体感出来て良かった。」「近い内にオリジナル生地をオーダーしてみたいと思いました。」との声が聞かれた。

来場者の業種別内訳は次ページのとおり。

【以下、展示会各種数値】

＜第26回 2024/25 秋冬 BME の来場者の内訳＞

	アパレル	小売	商社 問屋	その他	オンライン	計
1日目	182名	42名	129名	54名	44名	451名
2日目	154名	19名	194名	94名	54名	515名
計	336名 (34.8%)	61名 (6.3%)	323名 (33.5%)	148名 (15.3%)	98名 (10.1%)	966名 (100.0%)

＜第26回 BME のサンプルリクエスト状況＞

	アパレル		小売		商社・問屋		その他		計	
	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数	社数	点数
1日目	257	1,770	44	279	223	1,577	7	21	531	3,647
2日目	209	1,308	14	72	201	1,275	13	26	437	2,681
計	466	3,078	58	351	424	2,852	20	47	968	6,328

【会場の様子】

▲展示会 会場内



▲商談コーナー



▲講習会



＜本資料のお問い合わせ＞

(公財) 一宮地場産業ファッションデザイン
センター

事務局長 本田

電話：0586-46-1361

内線番号：7945